

シャレオR門扉電気錠

取付説明書

- このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、あなたや他の人々の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味



警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。



注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号



ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

※

- 取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。



補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>



警告

- 門扉は人や車が入り出すためのものです。構造によって開閉する方法が異なりますので、設置の場所・目的に合わせて選択してください。



注意

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

<施工上のご注意>



注意

- 外開きタイプでは開閉時に扉が公道(道路面)等へ飛び出さない位置に設置してください。
- 電装商品の場合は配線工事を有資格者の専門業者にご依頼ください。
- 施工終了後は扉の開閉チェックを行ない、不具合がないか確認してください。
- 落雷時の器具破損、誤動作防止のため、家屋～通電金具間は架空配線をしないで地中配線にしてください。
- 門内施解錠押ボタン、家屋から通電金具までの配線および増設する施解錠スイッチへの配線は、100Vおよび200Vの配線と接近して平行または交差しないでください。平行させる場合は、50cm以上離してください。また、埋込配線の部分は、100Vおよび200V電源とは別配管にしてください。
- 地中電線路の配管には、将来掘り起こすことがない場所を選んでください。
- 配管距離が長い場合、また曲がり角が2ヶ所以上になる場合は、ハンドホールを設けてください。
- ハンドホール内で電線の接続は行なわないでください。
- 配管内に水が侵入しないように、パテなどでふさいでください。
- スリーブの固定(電線の接続)は、必ず専用の工具でカシメてください。

■梱包明細表

1 扉本体

名称	略図	員数
扉本体		1
吊元框下キャップ ※		1
合掌框下キャップ ※		1
門扉部品セット	ヒンジ(上)	1
	ヒンジ(下)	1
	ヒンジ裏板	2
	ヒンジキャップ	2
	ヒンジカバー	2
	落とし棒受け	2
	1-① M4×10トラスネジ	8
1-② φ4×10サラタッピンネジ1種 D=6	2	
取付説明書	—	1

※ 扉本体に仮止めしています。

1 扉本体 つづき

名称	略図	員数
門扉部品セット	サムターン	1
	シリンダー	1
	キー	5
	シリンダー台座	2
1-③ M4×30サラ小ネジ		4

2 戸当り

名称	略図	員数
戸当り		1
2-① φ4×13サラピアスネジ		4

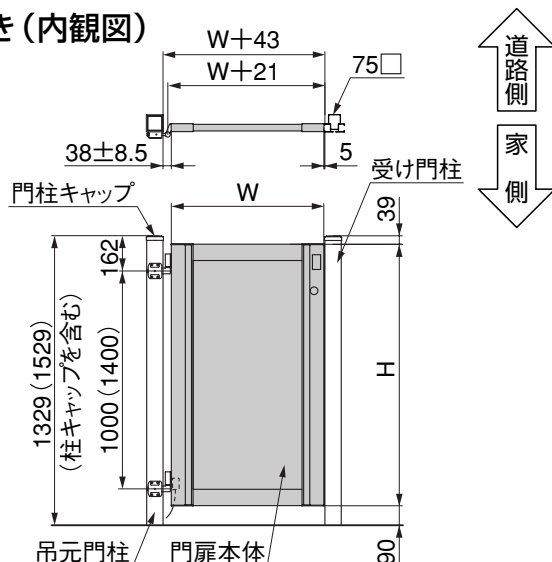
3 スイッチボックス

名称	略図	員数
1コ用スイッチボックス (通電金具用)		1
1コ用スイッチボックス (防滴プレート用)		1
防滴プレート		1
施解錠操作押ボタン		1
スリーブ		4

1. 基本寸法図

※図は、H12内開き仕様を示します。

1-1 片開き(内観図)

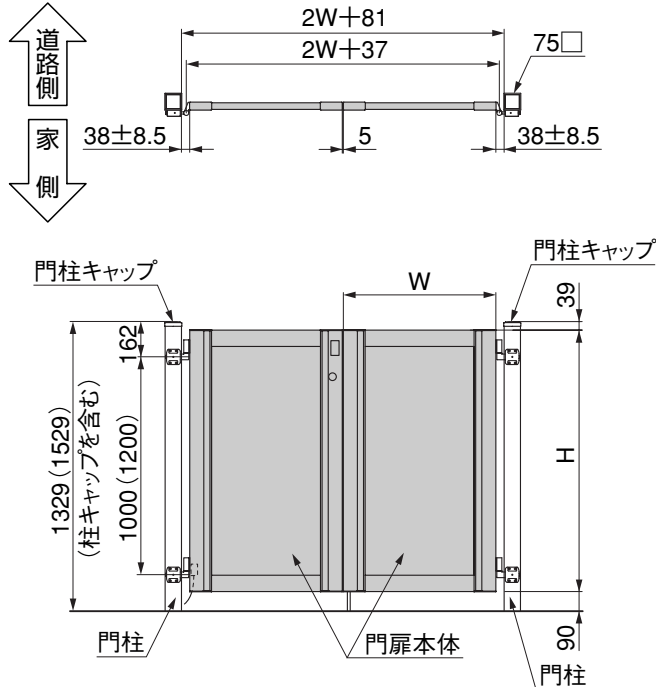


補足

- 寸法はH12の場合を示し、()内寸法はH14の場合を示します。
- Wは扉の横幅寸法を示します。

呼称	W	H
06-12	600	1200
07-12	700	1200
08-12	800	1200
07-14	700	1400
08-14	800	1400

1-2 両開き (内観図)



補足

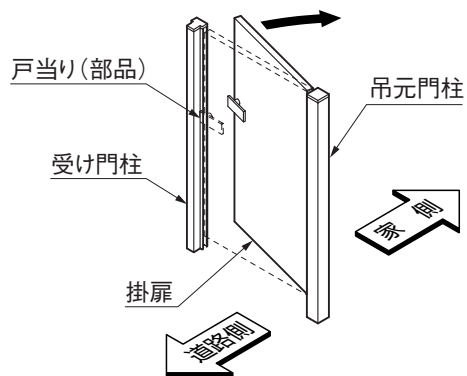
- 寸法はH12の場合を示し、()内寸法はH14の場合を示します。
- Wは扉の横幅寸法を示します。

呼称	W	H
06-12	600	1200
07-12	700	1200
08-12	800	1200
07-14	700	1400
08-14	800	1400

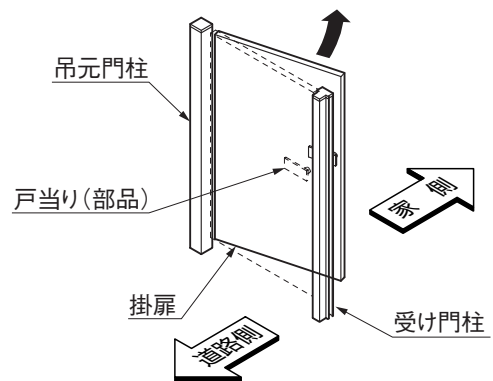
2. 部品配置図

2-1 片開き・内開き

(1) 右勝手



(2) 左勝手



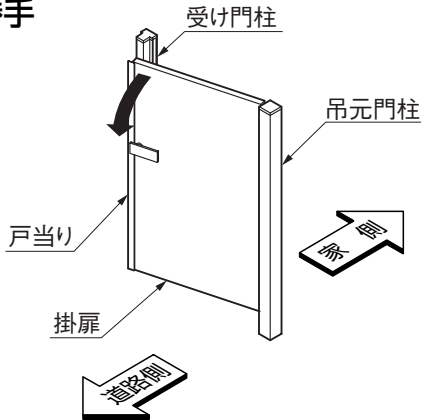
ポイント

- 錠セットに同梱包の戸当り部品を使用してください。

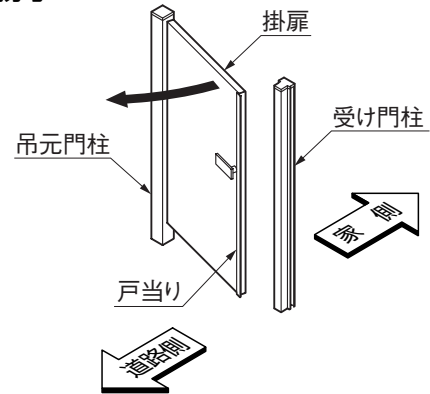
2. つづき

2-2 片開き・外開き

(1) 右勝手



(2) 左勝手

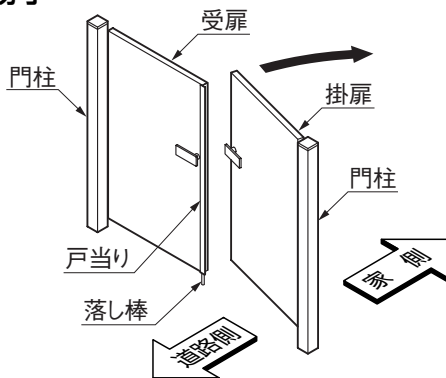


ポイント

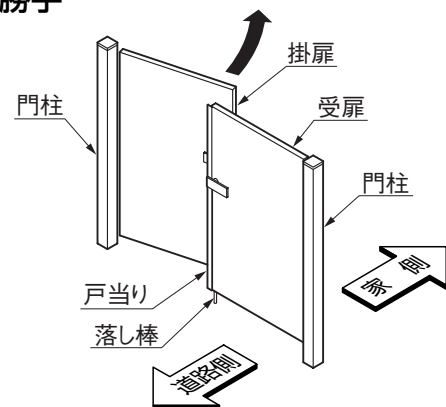
- 別売りの外開き用持ち送りを使用してください。

2-3 両開き・内開き

(1) 右勝手

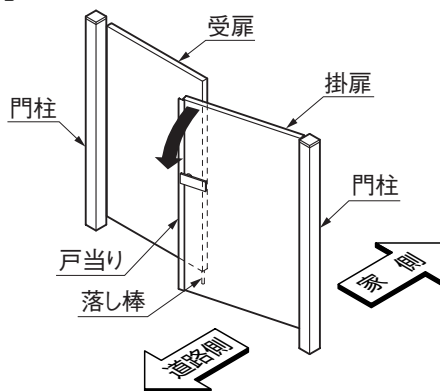


(2) 左勝手

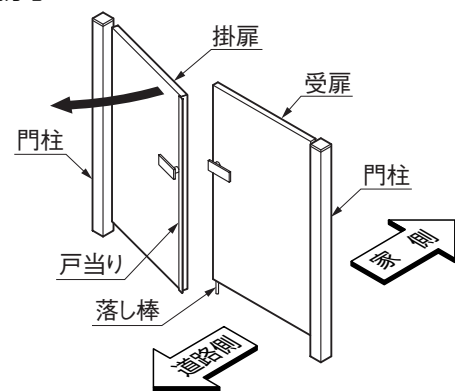


2-4 両開き・外開き

(1) 右勝手



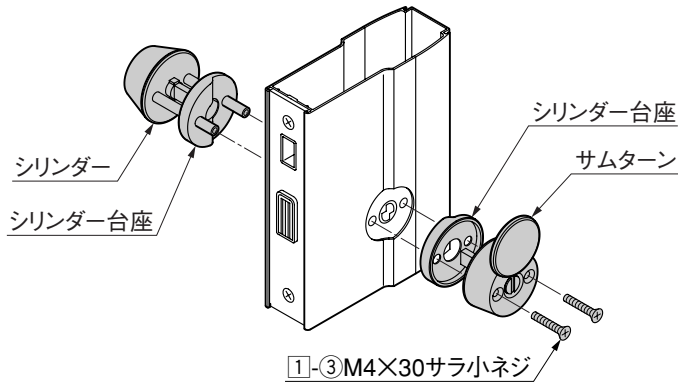
(2) 左勝手



ポイント

- 別売りの外開き用持ち送りを使用してください。

3. シリンダーの取付け



- ① シリンダーを家の外側に向けて取付けてください。
- ② シリンダー台座を門扉の框に当てて、サムターン側から固定してください。

ポイント

- 同梱している5個のキーは、必ず施主様に渡してください。

4. ヒンジの取付け

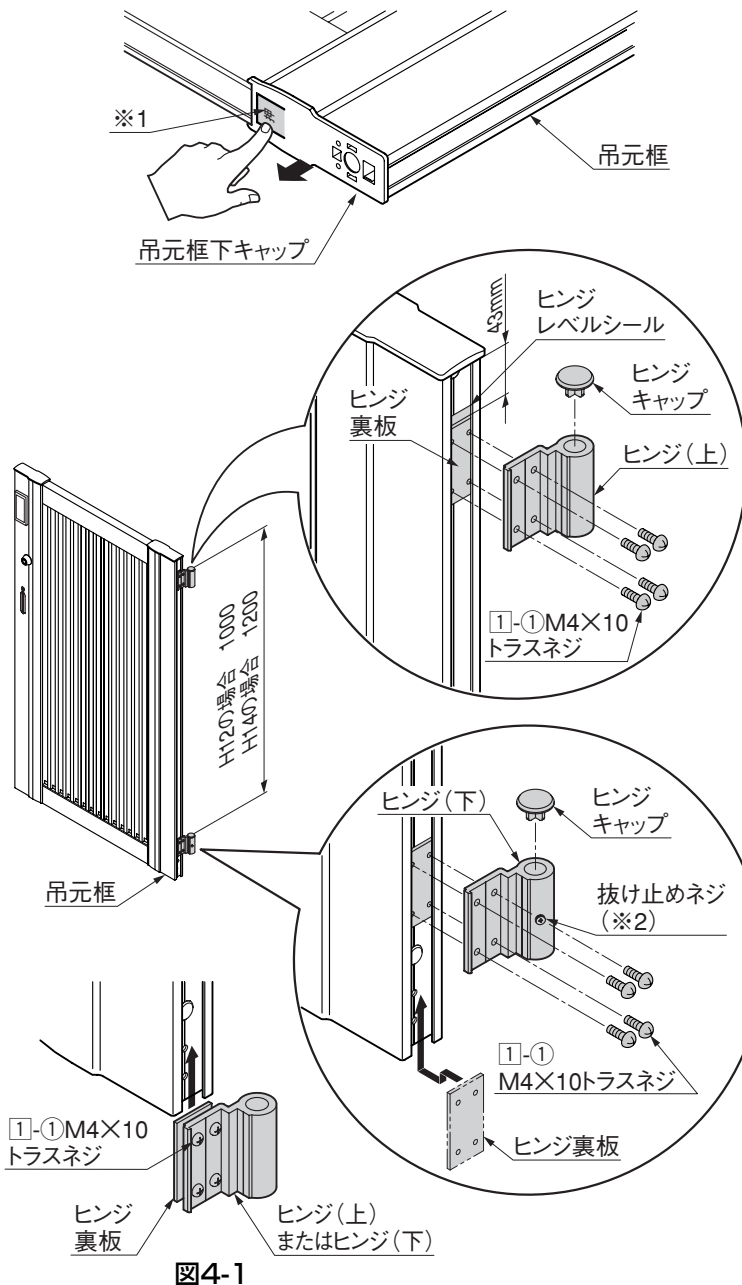


図4-1

- ① 「押」の部分(※1)を押しながら、吊元框下キャップ全体を引き抜き、取外してください。

補足

- 吊元框下キャップは、仮固定状態で梱包しています。

- ② ヒンジ裏板を吊元框下端からスライドさせて、ヒンジを図に示す位置に①-①で固定し、ヒンジキャップを取付けてください。

ポイント

- ヒンジにはヒンジ(上)とヒンジ(下)の区別があります。抜け止めネジがついているヒンジがヒンジ(下)です。(※2)

補足

- あらかじめヒンジに、ヒンジ裏板を仮組みした状態で吊元框にスライドさせると簡単です。(図4-1参照)
- ヒンジの向きは内開きと外開きで異なります。(図4-2参照)

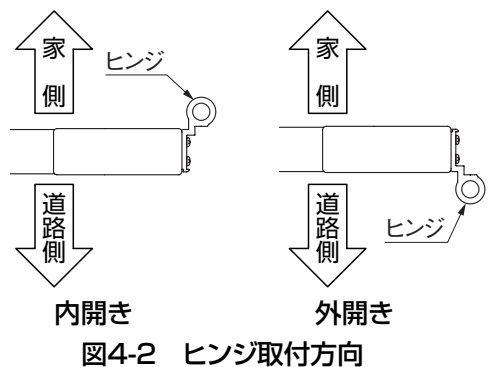
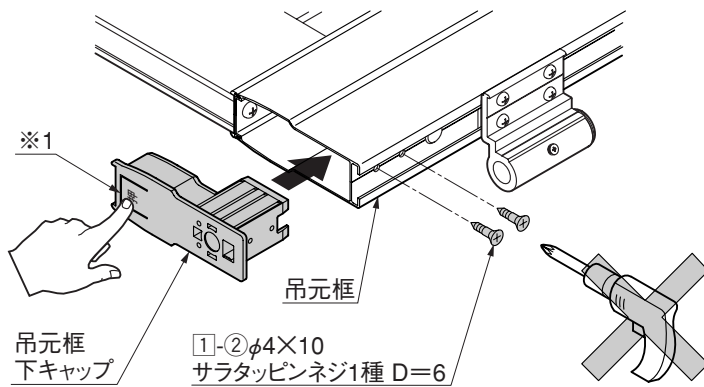


図4-2 ヒンジ取付方向

4. つづき

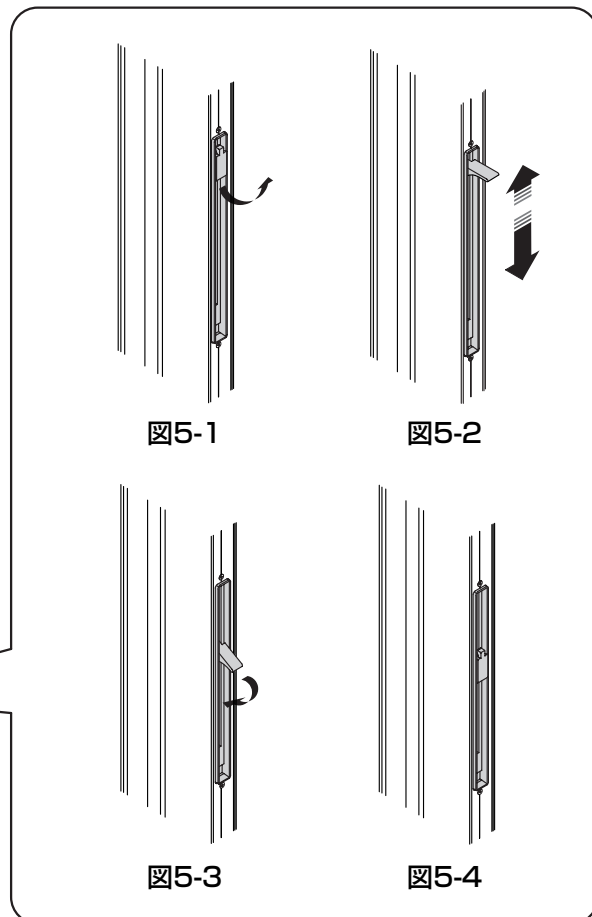
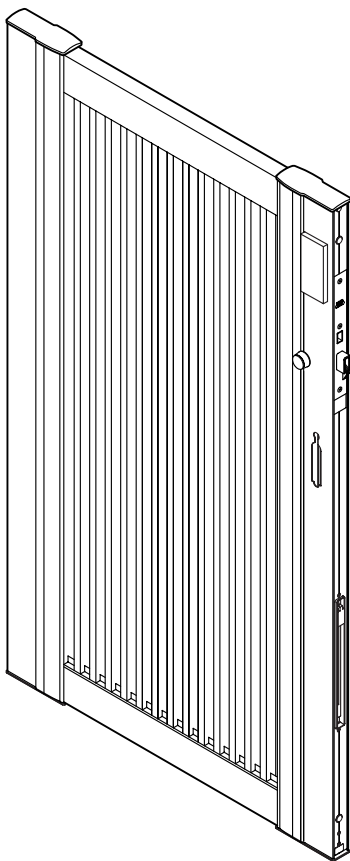


- ③ ヒンジの取付けが終了したら吊元框下キャップを、「押」の部分(※1)を押しながら吊元框に挿入し、①-②で取付けてください。

ポイント

- 吊元框下キャップの取付けには、電動ドライバーを使用しないでください。

5. 落とし棒の操作方法

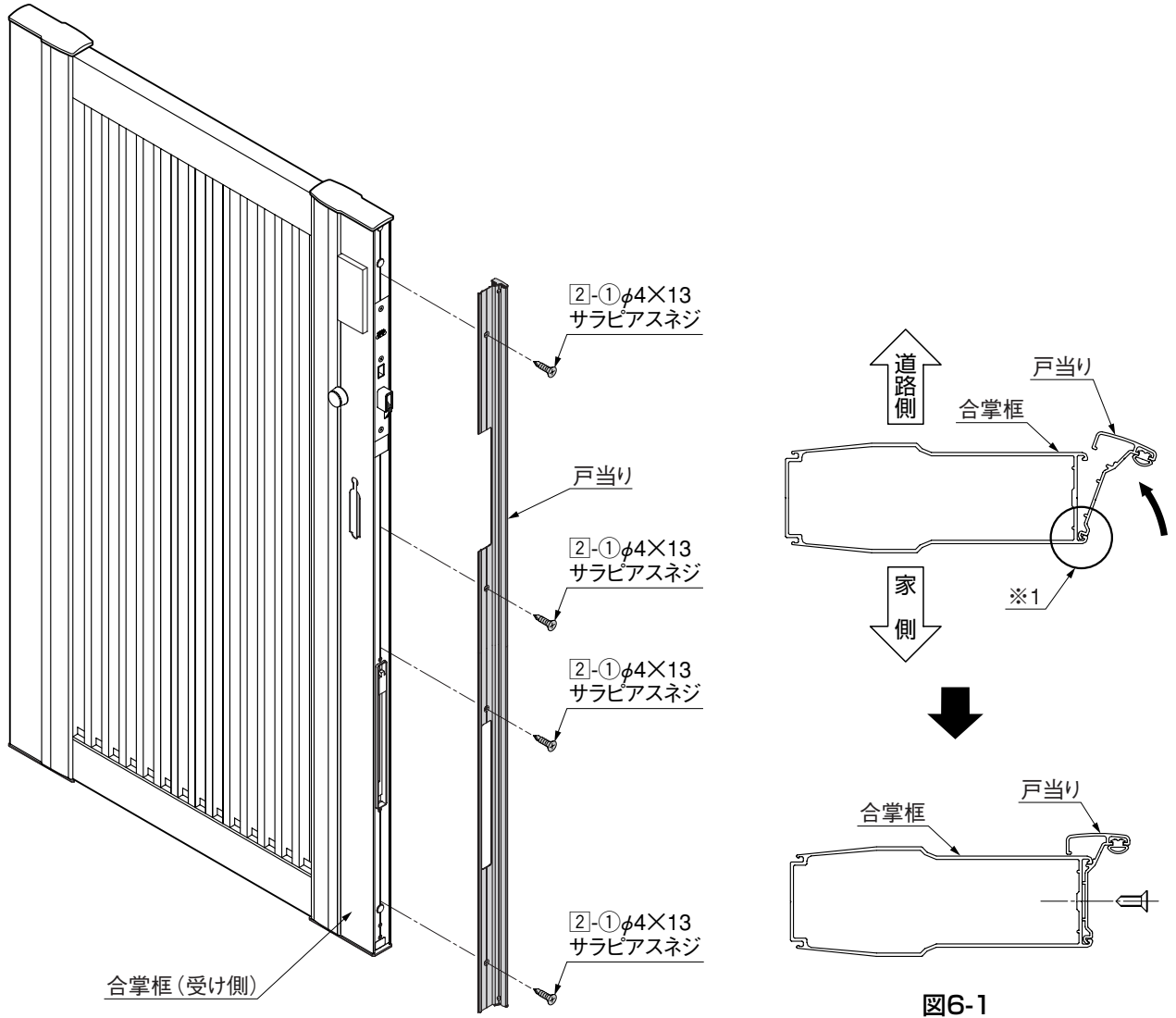


- ① ツマミを引き上げ、ロックを解除してください。(図5-1参照)
- ② ツマミを更に引き起こして上下させ、落とし棒を移動してください。(図5-2参照)
- ③ 落とし棒の位置が決定したら、ツマミを引き下げてロックしてください。(図5-3参照)

ポイント

- 落とし棒操作時以外は、ロック状態にしてください。(図5-4参照)

6. 戸当りの取付け



❶ 戸当りを合掌框に2-1で取付けてください。

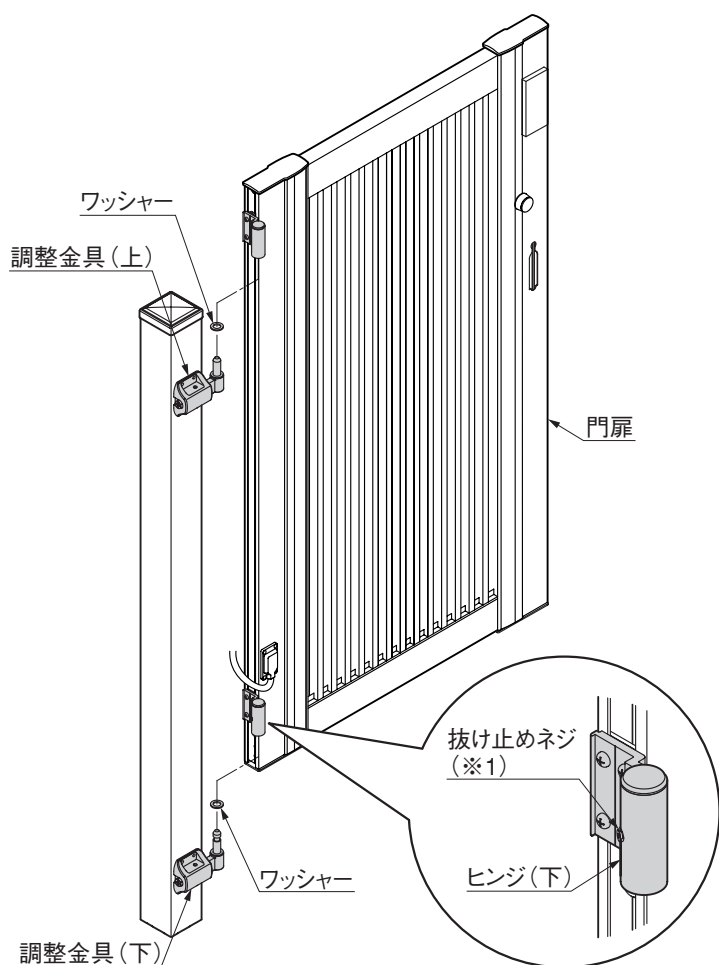
補足

- 合掌框には戸当り取付け用の孔加工はありません。
- 戸当りを取付ける扉は、「2.部品配置図」を参照してください。
- 片開き・内開きの場合は、錠セットの取付説明書をご覧ください。

ポイント

- 戸当りは、○部分に引っ掛けます。(※1)

7. 門扉の吊り込み



- ❶ ヒンジ(下)の抜け止めネジをゆるめてください。(※1)
- ❷ 門柱に同梱のワッシャーを、調整金具シャフトに取り付けてください。
- ❸ 調整金具シャフトにヒンジ(上)、ヒンジ(下)を差込み、門扉を吊り込んでください。
- ❹ ヒンジ(下)の抜け止めネジをしめこんでください。

補足

- 図は両開きを示します。片開きの場合は、受け門柱に仮止めしてあるストライクを固定してください。(図7-1参照)

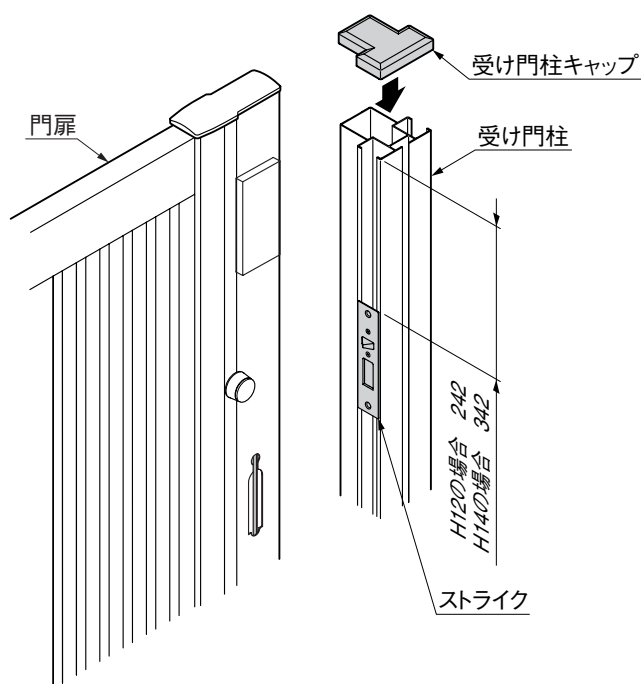
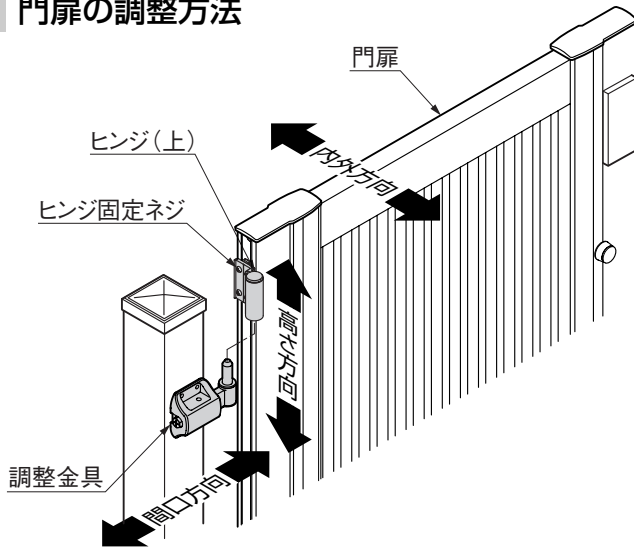


図7-1

8. 門扉の調整

8-1 門扉の調整方法



- ① 高さ方向の調整方法は、ヒンジ固定ネジをゆるめ、ヒンジをスライドさせて調整してください。

ポイント

- 門扉とG.L.のすきまは90mmが標準です。

- ② 間口方向および内外方向の調整方法は、「8-2 調整金具の調整方法」により調整金具で調整してください。

ポイント

- 錠の取付説明書を参考に、錠を取付けてください。

8-2 調整金具の調整方法

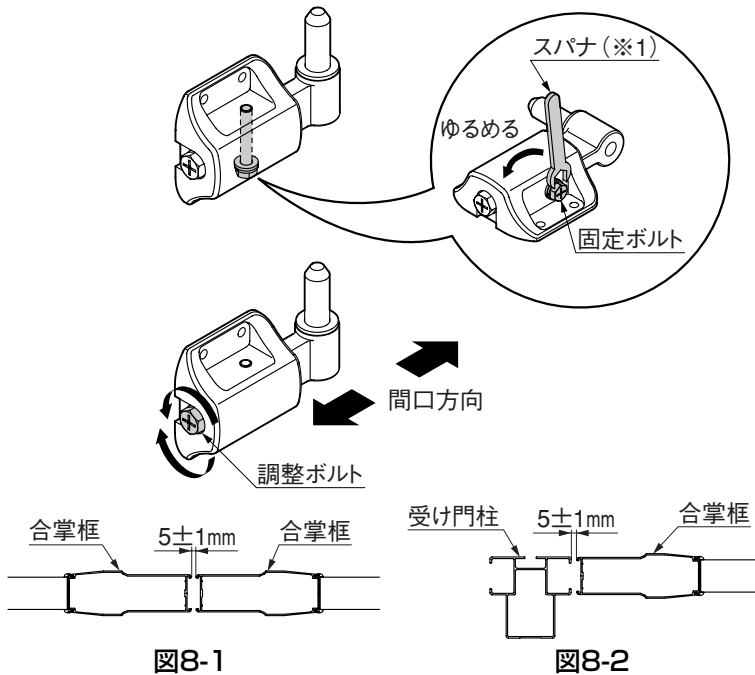


図8-1

図8-2

- ① 固定ボルトをゆるめてください。

ポイント

- 固定ボルトを締めたまま間口寸法の調整を行なうと固定ボルトが破損します。
- 必ず市販の呼び10スパナを使用してください。(※1)

- ② 調整ボルトをまわし、間口寸法を決めてください。

ポイント

- 両開きの場合、合掌框と合掌框のチリ寸法は5±1mmに調整してください。(図8-1参照)
- 片開きの場合、合掌框と受け門柱のチリ寸法は5±1mmに調整してください。(図8-2参照)

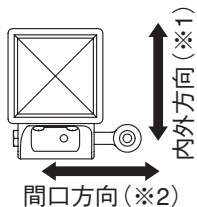
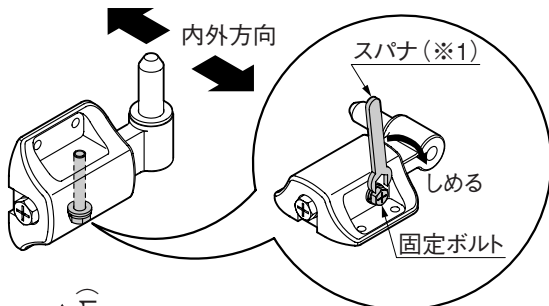


表8-1 調整範囲

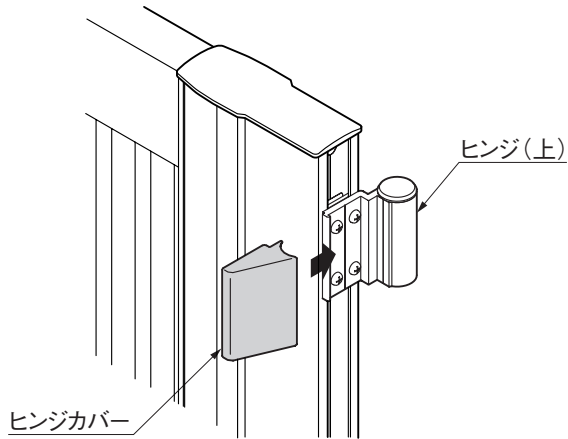
	調整金具H
内外方向(※1)	±4.5mm
間口方向(※2)	±8.5mm

- ③ 内外寸法を決めたあと、固定ボルトをスパナで締め付けてください。

注意

- ドライバーのみの締め付けは、ゆるんでガタが生じたり、外れたりするおそれがあります。

9. ヒンジカバーの取付け

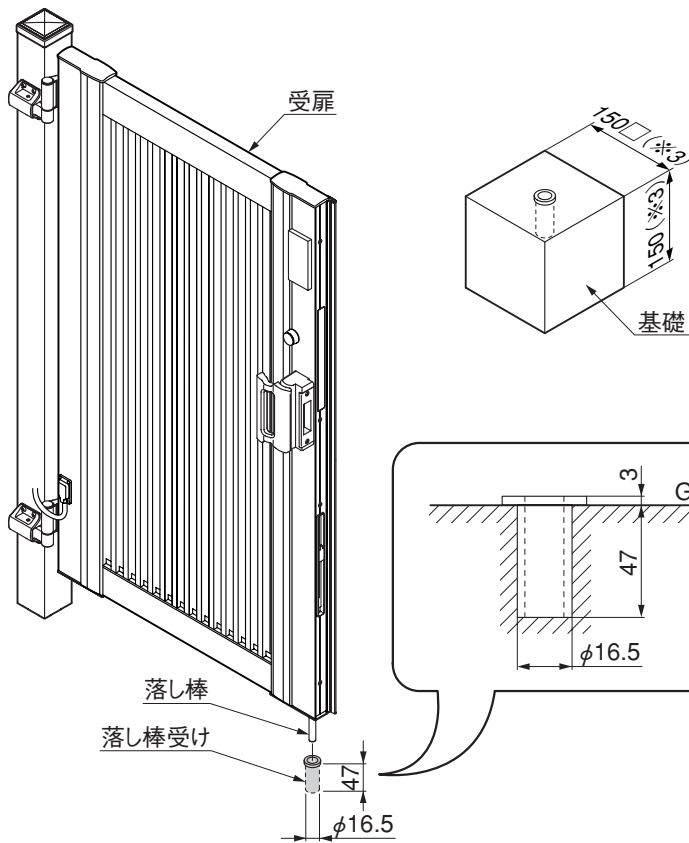


- ① ヒンジ(上)およびヒンジ(下)に、ヒンジカバーをはめ込んでください。

ポイント

- ヒンジカバー内側の突起がパチンと入るまで挿入します。

10. 落とし棒受けの施工



- ① 受扉を閉めた位置で落とし棒を収める位置に、落とし棒受けを施工してください。(※1)

- ② 掛扉および受扉を開いた状態で落とし棒を収める位置に、落とし棒受けを施工してください。(※2)

ポイント

- 落とし棒受けの埋込位置は、現場に合わせて施工してください。
- 基礎寸法は指定寸法以上にしてください。(※3)

補足

- 落とし棒は框の下面から最大180mmまで下がります。
- 落とし棒の操作方法は、「4. 落とし棒の操作方法」を参照してください。

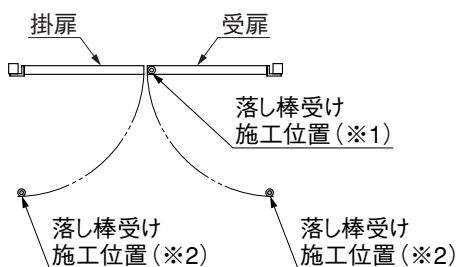


図10-1 両開き

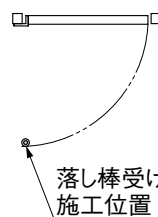
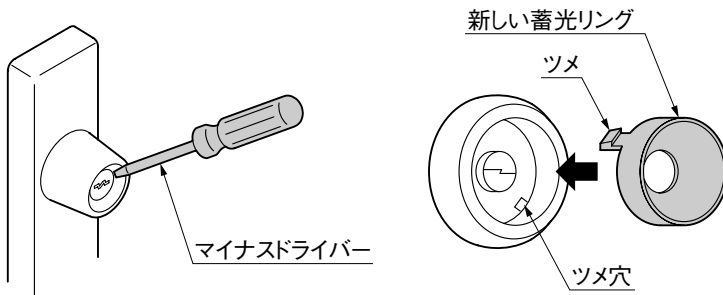


図10-2 片開き

11. 蓄光リングの交換



① 古くなった蓄光リングを、マイナスドライバーでこじるようにして取除いてください。

⚠ 注意

● 蓄光リングを交換する際に、錠本体にキズをつけないようにしてください。

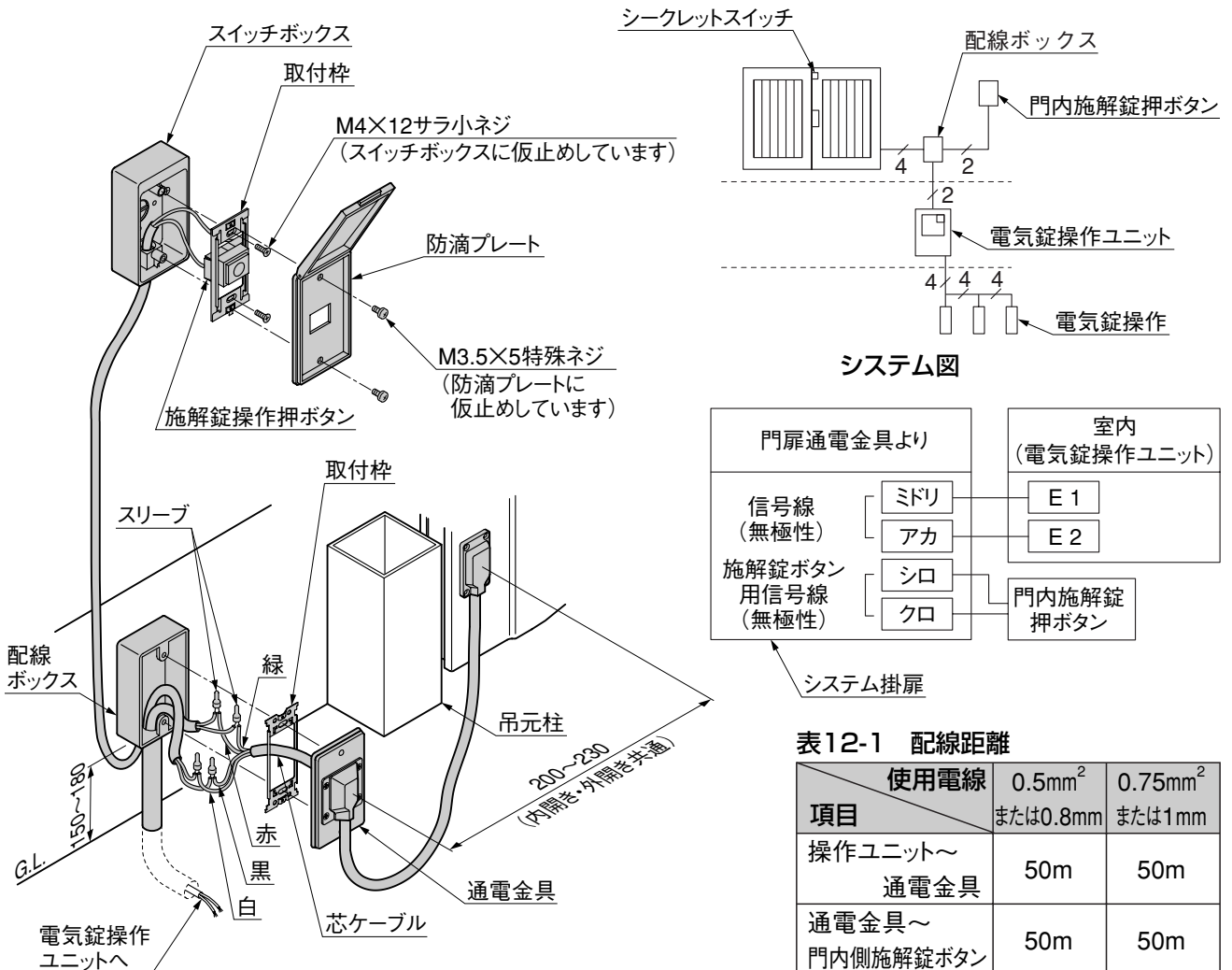
② 新しい蓄光リングのツメをツメ穴に合わせて、はめ込んでください。

12. 電気錠システムの取付けおよび接続方法

⚠ 注意

● ここから先は、電気工事店様(有資格者)が行なってください。一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

12-1 デラックスタイプの場合 ※門扉に電気錠・シークレットスイッチを組込んだタイプです。



12. つづき

12-2 スタンダードタイプの場合 ※門扉に電気錠を組み込み、シークレットスイッチを組み込んでいないタイプです。

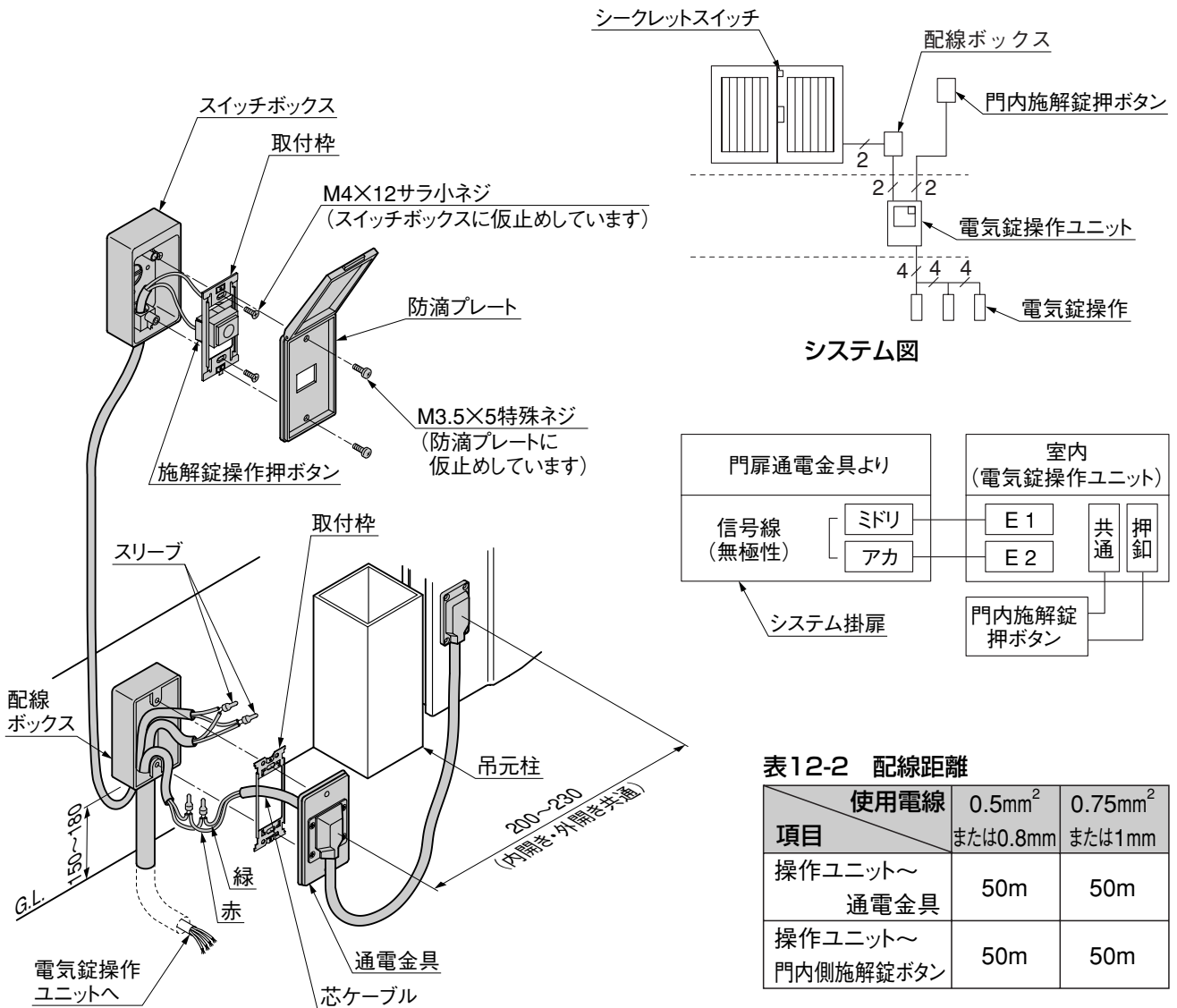


表12-2 配線距離

項目	使用電線	0.5mm ²	0.75mm ²
		または0.8mm	または1mm
操作ユニット～ 通電金具		50m	50m
操作ユニット～ 門内側施錠ボタン		50m	50m

ポイント

- スイッチボックスの取付位置は、G.L.より約1400mmにしてください。取付場所は、門の内側の操作しやすい場所に必ず取付けてください。
- 電気錠操作ユニット（および電気錠操作ボタン）、インターホン親機の取付け、接続方法等は、必ず各室内機の取付説明書をご覧ください。
- コードの結線には、必ずスリーブを使用してください。

取説コード

A379

200209A_1007
200211C_1007